令和2年度事業報告

　(令和２年１月１日～令和２年１２月３１日)

特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ

１．事業実施の方針

**子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する電話としての充実と発展を図る。**

1. 第12期生の募集と養成講座を行い受け手を養成する。
2. 受け手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
3. 次年度受け手を継続するには全研修の原則として半分以上の出席を必要とする。
4. 支え手の意義と役割を確認し意識の共有を図るために支え手研修を必修とする。
5. 北関東エリアで協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。
6. オンラインで子どもの声を聴きスキルアップ研修を行う。
7. アウトリーチプログラム養成研修を行い実施につなげていく。

**子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に問題を提起する。**

①　チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で子どもたちの声を受けとめ社会に発信していく。

1. 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
2. 公開講座を開催し、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

２．事業の実施に関する事項

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 事　業　内　容 | 実　施日　時 | 実　施場　所 | 従事者の人　数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
| 1.子どもの声を聴く事業 | ①子どものための相談の実施 | 毎週月曜日・金曜日　毎月・第二日曜・第三土曜日16時〜21時オンラインチャット　毎月第1木曜日・第3木曜日)　　16時～21時 | 県内一ヵ所 | 延べ885人延べ200人 | 6歳～18歳1,732件325件 | 760 |
| ②研修事業の開催 | 1. 「逐語」

若色美佐子 　1/18 (土)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | とちぎ青少年センター | 15人 |  | 20 |
| 1. 「アクティブラーニング」

福本佳之　　6/26(金) | とちぎ青少年センター | 12人 |  | 20 |
| 1. 「気になる子どもの現状」

柳沢邦夫　　7/19(日) | とちぎ青少年センター | 27人 |  | 55 |
| 1. 「聴くストレスケア」

栃木さおり　8/2(日) | とちぎ青少年センター | 31人 |  | 20 |
| 1. 「現地研修」

だいじょうぶ事務所　9/5(土) | とちぎ青少年センター | 16人 |  | 50 |
| 1. 「あなたならどうする」

下牧千佳乃　10/24(日) | とちぎ青少年センター | 16人 |  | 20 |
| 1. 「栃木県の子どもの現状

福田雅章　　12/13(日)　　　　 | とちぎ青少年センター | 22人 |  | 55 |
| ③支え手研修の開催 | 　「支え方・情報共有・注意点」　2/15(土) | とちぎ青少年センター | 11人 | 　　　 | 10 |
| ④オンライン研修の開催 | 1. 「オンライン事後研修」　2/5（土）
2. 「オンライン事後研修」　9/10(木)
3. 「オンライン事後研修」　9/19(土)
4. 「オンライン事後研修」　10/8(木)
 | 総合コミュニティセンター | 8人10人6人9人 |  | 50 |
| ⑤子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報 | 年間20万枚のカード(県内全域の小学校・中学校・高等学校)ポスター1,000枚の配布 |  | 21人 | 約20万人 | 300 |
| 2.地域社会への啓発事業 | 1. 公開講座
 | 1. 「親と子のきずなの作り方」

紀恵理子　　11/15(日) | とちぎ青少年センター | 41人 |  | 175 |
| ②広報のためにイベント等に参加 | 11/1(日)「虐待防止県民のつどい」12/20(土)「サンタdeランeスポーツクリーン大作戦」 | パルティオリオンスクエア | 延べ15人 | 多数 | 100 |
| ③広報誌や実施報告書の作成と配布 | 「報告書」1,000冊「広報誌」1,500冊 |  | 26人 | 地域住民 | 250 |